

2019年9月11日

国内初“食後の胃の負担をやわらげる”機能を表示 「BF-1（ビーエフワン）」を機能性表示食品として発売

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）は、当社独自のビフィズス菌「B. ビフィダム Y株」を含む乳製品乳酸菌飲料「BF-1（ビーエフワン）」を2019年11月11日に「機能性表示食品」として発売します。

本品は、国内初の胃に関する機能性表示食品で、一時的な胃の負担を感じている健常成人に対し、「B. ビフィダム Y株（B. ビフィダム YIT 10347）」が含まれるので、食後の胃の負担をやわらげる機能があります。

なお、「BF-1（ビーエフワン）」の2019年11月から2020年3月までの販売目標は1日当たり60千本です。



【商品特長】

- 当社独自のビフィズス菌「B. ビフィダム Y株」が1本（100ml）に30億個含まれています。
- 胃への刺激となる酸味を抑えた、胃にやさしいヨーグルト味です。
- 国内初の胃に関する機能性表示食品です。（届出番号：D589）

<表示しようとする機能性>

本品には、B. ビフィダム Y株（B. ビフィダム YIT 10347）が含まれるので、食後の胃の負担をやわらげる機能があります。

- ・本品は、事業者の責任において特定の保健の目的が期待できる旨を表示するものとして、消費者庁長官に届出されたものです。ただし、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。
- ・本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。
- ・多量に摂取することにより、疾病が治癒したり、より健康が増進するものではありません。食後の胃の負担が次の食事にも影響する（一過性でない）場合、長期間持続する（慢性的な）場合、日常生活に支障を及ぼす（つらいと感じる）場合は、医師の診察をお勧めします。
- ・食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

◆商品情報

- ・商品名：「BF-1（ビーエフワン）」
- ・商品分類：乳製品乳酸菌飲料
- ・容量：100ml／本
- ・希望小売価格：115円／本、345円／3本パック、805円／7本パック（いずれも税別）
- ・販売チャネル：①ヤクルトレディによる訪問販売
②スーパーマーケットやコンビニエンスストア等での店頭販売

以上

<参考資料1 食後の胃の負担をやわらげる機能について>

1. 一時的な胃の負担を感じている健常成人79名を2群に分け、被験食群には「BF-1（ビーエフワン）」を、対照群には疑似飲料（味や外見は同じで、有効成分を含まないもの）を1日1本（100ml）、4週間飲用してもらいました。
2. その結果、改訂FSSG^{*1}を用いた上腹部症状の評価において、被験食群では、「食後のみぞおちのいたみ」でのスコア低下（被験食群：-0.38 ± 0.67、対照群：-0.08 ± 0.69（平均 ± 標準偏差）および「食後の不快感」でスコアが軽減方向に変化した人の割合の増加が確認されました（図1）。
3. また、GSS^{*2}を用いた消化管症状の評価において、被験食群では、胃を含む上腹部症状のスコアが軽減方向に変化した人の割合の増加が確認されました（図2）。
4. これにより、「BF-1（ビーエフワン）」の食後の胃の負担をやわらげる機能が、一時的に胃の負担を感じる健常成人において確認されました。

* 1 改訂 Frequency Scale for the Symptoms of GERD : 改訂FSSG

上腹部の状態について、14の質問項目が記載された問診表に沿って、症状の頻度を評価する国際的の手法の一つ。

* 2 Gastrointestinal Symptom Rating Scale : GSS

上腹部を含めた消化管の状態について、15の質問項目が記載された問診表に沿って、症状の深刻度を評価する国際的な手法の一つ。

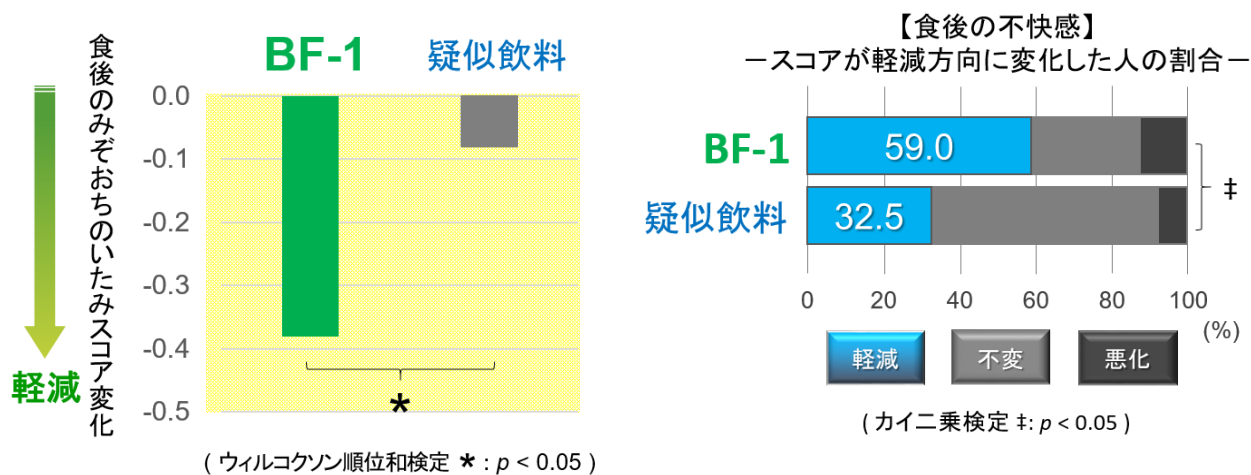


図1. 改訂FSSGを用いた上腹部症状の評価

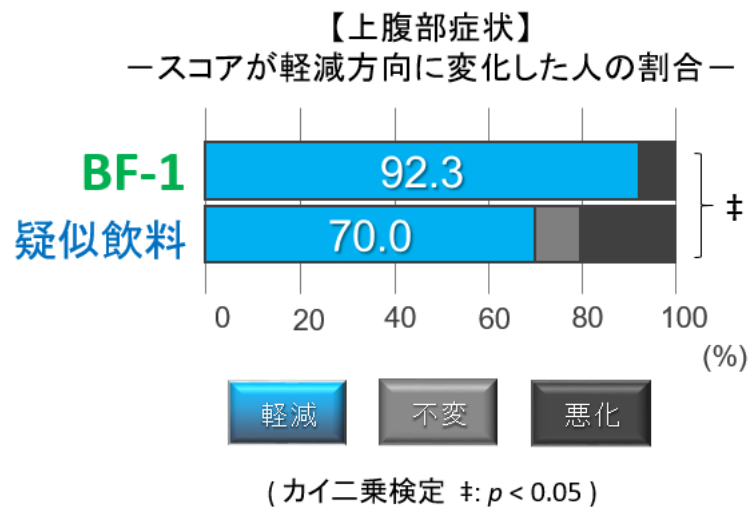


図2. G S R Sを用いた胃を含む上腹部症状の評価

<論文情報>

掲載誌：Journal of Dairy Science, 101(6), 4830-4841, 2018

論文表題： *Bifidobacterium bifidum* YIT 10347 fermented milk exerts beneficial effects on gastrointestinal discomfort and symptoms in healthy adults: A double-blind, randomized, placebo-controlled study

著者：A. Gomi, K. Yamaji, O. Watanabe, M. Yoshioka, K. Miyazaki, Y. Iwama, and Y. Urita